令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	535 地域振興推進事業（旧：地域拠点活力共創マネジメント事業）						
予算科目	01-080401-24 周辺市街地振興に要する経費				担当部課	都市計画部周辺市街地振興課	
市長公約	82	84	85-2	86-2	係名		
戦略プラン	I-3	2	1	地域主体のまちづくり体制の構築推進		新規・継続	新規
	I-3	2	2	地域づくり拠点の形成		事業分類	自治事務（任意）
個別計画						事業体制	一部委託
						事業期間	毎年度
根拠法令等						SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、来街者等
目的	各周辺市街地活性化協議会活動の自走化や、地域の賑わい創出・コミュニティ活動の拠点整備等により、持続的な周辺市街地振興を図る。（令和5年度から1042学校跡地地域運営拠点事業の規模を縮小し統合）
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> 各周辺市街地活性化協議会が自ら資金等を獲得し、自走化していくための運営・組織強化の支援。 まちづくり活動に参画する人材を掘り起こすとともに、活動母体の組織化や伴走的な育成を行うことで、地域に定着し自立して継続的に活動を行ってもらう環境を醸成。 地域の賑わい創出拠点として空き店舗等を活用したチャレンジショップを整備することによる、地域経済の活性化に取り組みやすい環境の醸成。 地域の廃校を利用したコミュニティ拠点の整備による、地域コミュニティ活動に取り組みやすい環境の醸成。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	21,096	20,779	25,916	36,707	22,771	
	決算額	(千円)	0	19,911	24,976	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	9,339	15,756	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	9,372	9,220	0	0
		その他	(千円)	0	1,200	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	18,162	25,192	29,896	32,147	32,147	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.50	3.50	4.00	4.50	4.50
		正職員時間外勤務	(時間)	465.00	420.00	400.00	440.00	440.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市HP、広報紙、SNS、回覧板
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	つくばR8シンポジウム

指標の推移

1	指標名	つくばR 8 地域会議（8市街地合同勉強会）への参加者数（人）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	80.0	90.0	100.0	110.0	120.0	130.0
	実績	94.0	394.0	157.0	73.0	58.0	48.0
指標の概要	(個別施策 I-3-②地域資源をいかした持続的な周辺市街地の振興 関連指標)						

2	指標名	地域人材を養成する講座・セミナー等への参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	30.0	40.0	50.0	50.0	60.0
	実績	38.0	8.0	49.0	65.0	87.0	67.0
	指標の概要	(個別施策 I -3-②地域資源をいかした持続的な周辺市街地の振興 関連指標)					
3	指標名	チャレンジショップ出店件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	2.0	4.0	4.0
	実績	0.0	0.0	0.0	3.0	7.0	8.0
	指標の概要	空き店舗を活用したチャレンジショップで出店した件数を設定する。令和4年度から募集開始予定。(令和3年度から指標名を変更しました。)					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	
成果	ネットワーク会議の開催により、持続的な地域づくり活動の手法について、各協議会の理解が進んだ。まちづくり活動に参画する人材の発掘・育成により、継続的に活動が行える環境作りが進んだ。チャレンジショップへの入居者をビジネスプランコンテストで選定し、地域経済の活性化に寄与した。廃校を利用したコミュニティ拠点で様々な地域コミュニティ活動が実施された。
課題	業務
	組織、予算等
改善目標	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	536 周辺市街地活性化補助金（旧：周辺市街地活性化チャレンジ補助金）					
予算科目	01-080401-24 周辺市街地振興に要する経費			担当部課	都市計画部周辺市街地振興課	
市長公約	90-2	93-4	96-2	係名		
戦略プラン	I-3	2	1	地域主体のまちづくり体制の構築推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（直接）
個別計画				事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民（周辺市街地活性化協議会）、来街者等
目的	地域主体の地域活性化に関する取組を支援する。
概要 (取組内容)	周辺市街地活性化協議会（8周辺市街地毎に1団体を認定）へ上限50万円の補助金を支出するなどし、地域活性化の取組を支援する。 周辺地域のうち面積の9割以上が市街化調整区域で、H23とR3を比較し人口増減がないまたは減少している大字等における地域づくり活動へ上限15万円の補助金を支出するなどし、地域活性化の取組を支援する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	4,300	4,300	4,300	4,600	4,900	
	決算額	(千円)	0	3,266	3,413	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	3,266	3,413	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,735	3,648	7,410	10,554	10,554	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	1.00	1.50	1.50
		正職員時間外勤務	(時間)	135.00	80.00	74.00	80.00	80.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	回覧板
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	R 8 シンポジウム

指標の推移

1	指標名	周辺市街地活性化協議会等の加入者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	64.0	160.0	170.0	180.0	190.0	200.0
	実績	150.0	216.0	162.0	192.0	203.0	220.0
指標の概要	(個別施策 I-3-②地域資源をいかした持続的な周辺市街地の振興 関連指標)						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	
成果	各周辺市街地活性化協議会で地域住民が主体となった活性化の取組を支援できた。 また補助率が1/2である部分があることで、各協議会に自主的に活動資金を獲得する意識を持たせることができた。 市街化調整区域での地域活動を支援について、一団体を周辺コミュニティとして認定し支援を行った。
課題	業務
	組織、予算等
改善目標	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-